

その他の傷病統計に関する検討
—歯科傷病に関する検討—

研究協力者 橋本 修二 藤田医科大学客員教授
研究代表者 川戸 美由紀 国立保健医療科学院疫学・統計研究部上席主任研究官
研究分担者 三重野牧子 自治医科大学情報センター医学情報学准教授

研究要旨 検討課題の「その他の傷病統計に関する検討」の目的として、分担研究課題以外で、傷病統計に関する重要な検討課題を設定・検討する。歯科傷病に関する検討を取り上げ、2年計画によって、歯科傷病におけるNDBデータの傷病量の正確性と有用性を検討した。歯科レセプトの基礎的事項を整理した上で、歯科医療費の動向調査の傷病量について、2020年10月の患者調査データによる傷病量との比較を行い、両統計による傷病量の比較可能性が確認された。2018～2023年度における歯科医療費の動向調査の傷病量から一部の傷病の推移傾向が得られ、これには有用な情報が含まれていると思われた。以上より、次年度の検討に向けた準備がおおよそ完了したと考えられた。

A. 研究目的

検討課題の「その他の傷病統計に関する検討」の目的として、分担研究課題以外で、傷病統計に関する重要な検討課題を設定・検討する。

令和6年度は歯科傷病に関する検討を取り上げ、2年計画によって、歯科傷病におけるNDBデータの傷病量の正確性と有用性を検討した。次年度の目的達成に向けて、歯科レセプトの基礎的事項を整理した上で、歯科医療費の動向調査の傷病量について、2020年10月の患者調査データによる傷病量と比較するとともに、2018年4月～2024年3月の月別推移を検討した。

B. 研究方法

基礎資料として、歯科医療費の動向調査から利用可能な2018年度以降の歯科レセプトの月別、入院・外来、傷病分類別の診療実日数の集計結果表、および、「患者調査データの集計とNDBデータ利用に関する検討」による患者調査データの集計結果表を用いた。

歯科レセプトについて、基礎的な事項とし

て、電算処理、入院・入院外、病院・診療所、傷病分類の状況を検討した。2020年10月において、歯科レセプトの傷病量（平日の1日平均患者数）と患者調査の歯科診療所の傷病量（医療保険・公費等の推計外来患者数）を比較した。2018～2023年度において、傷病分類別、歯科レセプトの1日平均患者数の年次推移、および、「う蝕」と「歯肉炎及び歯周疾患」の歯科レセプトの1日平均患者数の年月推移を検討した。

1日平均患者数は「月（年）の診療実日数の合計」／「月（年）の日数」、平日の1日平均患者数は「1日平均患者数」／「週間診療状況の調整係数」で算定し、週間診療状況の調整係数には患者調査の総患者数推計の調整係数（6/7）を用いた。

（倫理面への配慮）

本研究では、既存の統計資料と集計結果表を用い、いずれも個人情報を含まないため、個人情報保護に関する問題は生じない。

C. 研究結果

1. 歯科レセプトの基礎的事項

歯科レセプトについて、基礎的な事項として、表 1-1 に電算処理状況、表 1-2 に入院・入院外の状況、表 1-3 に病院・診療所の状況を示す。歯科レセプトの診療実日数の電算化率は 2018 年度の 95% から 2023 年度の 97% に上昇した。歯科レセプトの電算処理分の診療実日数をみると、2018～2023 年度の各年度ともに入院外の割合は 99.8%、診療所の割合は 96% であった。

表 1-4 に歯科レセプトの電算処理分の診療実日数を傷病分類別に示す。2018～2023 年度において、全傷病に占める割合は「XI 消化器系の疾患」が 95%、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」が 4%、および、この 2 つの章分類の和が 98～99% であった。歯科・医科入院外レセプトに占める歯科レセプトの診療実日数の割合を傷病章分類別にみると、全傷病が 20～21%、「XI 消化器系の疾患」が 82～83%、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」が 19～20%、

「II 新生物＜腫瘍＞」が 2%、「XVII 先天奇形、変形及び染色体異常」が 5%、「XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見など」が 2～3% であり、それ以外の章分類では 1% 未満であった。傷病中分類別にみると、「XI 消化器系の疾患」の中では、「う蝕」が 100.0%、「歯肉炎及び歯周疾患」が 100.0%、「その他の歯及び歯の支持組織の障害」が 99.7%、「その他の消化器系の疾患」が 10～11%、それ以外の傷病中分類ではいずれも 1% 未満であった。「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」の中では、「その他の損傷及びその他の外因の影響」が 29～31%、それ以外の傷病中分類ではいずれも 1% 未満であった。

2. 歯科医療費の動向調査と患者調査の傷病量の比較

表 2-1 に、2020 年 10 月における傷病分類別、歯科レセプトと患者調査の歯科診療所の

傷病量の比較を示す。患者調査の歯科診療所の推計外来患者数（医療保険・公費等）をみると、傷病章分類では、「XI 消化器系の疾患」と「XIX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」がほとんどで、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」が少数であった。その推計外来患者数に対する、歯科レセプトの平日の 1 日平均患者数の比をみると、全傷病が 1.04 と 1 に近く、一方、傷病章分類別では「XI 消化器系の疾患」が 1.23、「XIX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」が 0.00、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」が 27.07 であった。傷病中分類別にみると、「XI 消化器系の疾患」の中では、「う蝕」が 0.34、「歯肉炎及び歯周疾患」が 2.08、「その他の歯及び歯の支持組織の障害」が 0.56、「その他の消化器系の疾患」が 0.51 であった。「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」の中では、「その他の損傷及びその他の外因の影響」が 26.83 であった。

3. 歯科医療費の動向調査の傷病量の年月推移の検討

表 3-1 に、2018～2023 年度における傷病分類別、歯科レセプトの 1 日平均患者数の年次推移を示す。歯科レセプトの 1 日平均患者数は、全傷病、「XI 消化器系の疾患」、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」とともに、2020 年度がやや少なく、それ以外の年度はほぼ一定の傾向であった。「XI 消化器系の疾患」の中の「う蝕」、「歯肉炎及び歯周疾患」、「その他の歯及び歯の支持組織の障害」と「その他の消化器系の疾患」、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」の中の「その他の損傷及びその他の外因の影響」とともに、2020 年度がやや少なく、それ以外の年度はほぼ一定の傾向であった。

図 3-1 に、2018～2023 年度における「う蝕」と「歯肉炎及び歯周疾患」の歯科レセプ

トの1日平均患者数の年月推移を示す。両疾患ともに、2020年4・5月が少ないが、それ以外には大きな変動がなかった。

D. 考察

歯科医療費の動向調査の傷病量について、2020年10月の患者調査データによる傷病量と比較するとともに、2018年4月～2024年3月の月別推移を検討した。これらの検討結果についてはいずれも、様々な面からの十分な議論を要するものの、歯科医療費の動向調査と患者調査による主傷病の傷病量について比較可能性が確認された。また、2018～2023年度における動向調査の傷病量から、一部の傷病の推移傾向が得られたが、これには患者調査などの他の傷病統計で得られない有用な情報が含まれていると思われた。

以上より、歯科医療費の動向調査の傷病量について、2023年10月の患者調査データによる傷病量との比較、傷病中分類別の詳しい年月推移の検討など、次年度の検討に向けた準備がおおよそ完了したと考えられた。

E. 結論

歯科傷病に関する検討を取り上げ、2年計画によって、歯科傷病におけるNDBデータの傷病量の正確性と有用性を検討した。歯科レセプトの基礎的事項を整理した上で、歯科医療費の動向調査の傷病量について、2020年10月の患者調査データによる傷病量との比較を行い、両統計による傷病量の比較可能性が確認された。2018～2023年度における歯科医療費の動向調査の傷病量から一部の傷病の推移傾向が得られ、これには有用な情報が含まれていると思われた。以上より、次年度の検討に向けた準備がおおよそ完了したと考えられた。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし。
2. 学会発表
なし。

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得
なし。
2. 実用新案登録
なし。
3. その他
なし。

表 1-1. 歯科レセプトの電算処理状況

年度	診療実日数：万日	
	全数	電算処理分（％）
2018年度	41,722	39,593 (94.9)
2019年度	41,829	39,902 (95.4)
2020年度	38,923	37,302 (95.8)
2021年度	39,904	38,423 (96.3)
2022年度	39,828	38,465 (96.6)
2023年度	40,104	38,968 (97.2)

（ ）：電算化率（全数に対する割合；％）

表 1-2. 歯科レセプトの入院・入院外の状況

年度	診療実日数：万日		
	入院	入院外（％）	合計
2018年度	93	39,500 (99.8)	39,593
2019年度	95	39,806 (99.8)	39,902
2020年度	81	37,221 (99.8)	37,302
2021年度	81	38,342 (99.8)	38,423
2022年度	81	38,383 (99.8)	38,465
2023年度	93	38,875 (99.8)	38,968

対象：歯科レセプトの電算処理分

（ ）：入院外の割合（％）

表 1-3. 歯科レセプトの病院・診療所の状況

年度	診療実日数：万日		
	病院	診療所（％）	合計
2018年度	1,672	37,495 (95.7)	39,167
2019年度	1,711	37,759 (95.7)	39,470
2020年度	1,508	35,397 (95.9)	36,905
2021年度	1,588	36,424 (95.8)	38,012
2022年度	1,576	36,480 (95.9)	38,056
2023年度	1,617	36,934 (95.8)	38,551

対象：歯科レセプトの電算処理分

（ ）：診療所の割合（％）

表 1-4. 歯科レセプトの傷病分類の状況

傷病分類	歯科レセプトの診療実日数（万日）						2018～2023年度に おける歯科・医科 入院外レセプトに 占める歯科レセプ トの診療実日数の 割合（％）の範囲 [#]
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
総数	39,593	39,902	37,302	38,423	38,465	38,968	19.8 ～ 20.7
I 感染症及び寄生虫症	24	27	23	23	22	21	0.5 ～ 0.6
II 新生物＜腫瘍＞	106	115	100	100	99	103	1.6 ～ 1.9
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	4	4	3	3	3	3	0.5 ～ 0.5
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	5	6	5	5	6	6	0.0 ～ 0.0
V 精神及び行動の障害	42	48	49	55	60	62	0.5 ～ 0.7
VI 神経系の疾患	17	17	15	16	16	17	0.3 ～ 0.4
VII 眼及び付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0.0 ～ 0.0
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	0	0	0	0.0 ～ 0.0
IX 循環器系の疾患	7	7	6	6	7	7	0.0 ～ 0.0
X 呼吸器系の疾患	18	18	16	16	17	17	0.1 ～ 0.1
X I 消化器系の疾患	37,427	37,762	35,402	36,521	36,503	36,984	82.4 ～ 83.4
う蝕	3,100	3,022	2,771	2,715	2,752	2,709	100.0 ～ 100.0
歯肉炎及び歯周疾患	30,105	30,582	28,815	30,054	29,916	30,507	100.0 ～ 100.0
その他の歯及び歯の支持組織の障害	3,879	3,793	3,487	3,417	3,500	3,441	99.7 ～ 99.7
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	0	0	0	0	0	0	0.0 ～ 0.0
胃炎及び十二指腸炎	1	1	1	1	1	1	0.0 ～ 0.0
痔核	0	0	0	0	0	0	0.0 ～ 0.0
アルコール性肝疾患	0	0	0	0	0	0	0.0 ～ 0.0
慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	0	0	0	0	0	0	0.0 ～ 0.0
肝硬変（アルコール性のものを除く）	0	0	0	0	0	0	0.0 ～ 0.0
その他の肝疾患	1	1	0	0	1	1	0.1 ～ 0.1
胆石症及び胆のう炎	0	0	0	0	0	0	0.1 ～ 0.1
脾疾患	0	0	0	0	0	0	0.0 ～ 0.0
その他の消化器系の疾患	342	363	327	333	333	326	9.9 ～ 11.0
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	22	24	21	21	21	22	0.2 ～ 0.3
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	11	11	9	10	10	10	0.0 ～ 0.0
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1	1	1	1	1	1	0.0 ～ 0.0
X V 妊娠、分娩及び産じょく	0	0	0	0	0	0	0.0 ～ 0.0
X VI 周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	0	0.1 ～ 0.1
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	21	22	20	22	21	22	5.2 ～ 5.4
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見など	39	48	58	69	83	99	1.6 ～ 3.4
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,535	1,523	1,367	1,353	1,401	1,402	18.9 ～ 20.3
骨折	13	13	11	11	11	12	0.5 ～ 0.6
頭蓋内損傷及び内臓の損傷	0	0	0	0	0	0	0.1 ～ 0.2
熱傷及び腐食	0	0	0	0	0	0	0.1 ～ 0.1
中毒	0	0	0	0	0	0	0.0 ～ 0.0
その他の損傷及びその他の外因の影響	1,521	1,510	1,356	1,342	1,390	1,389	29.1 ～ 30.7
XX I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0	-
XX II 特殊目的用コード（COVID-19など）	0	0	0	1	1	0	0.0 ～ 0.1
不詳	315	269	207	201	193	191	5.9 ～ 7.0

対象：レセプトの電算処理分

[#]：（歯科レセプトの診療実日数）／（歯科と医科入院外のレセプトの診療実日数）×100（％）の最小値と最大値

表 2-1. 傷病分類別、歯科レセプトと患者調査の歯科診療所の傷病量の比較：2020 年 10 月

傷病分類	患者調査の 歯科診療所 の推計外来 患者数 ^{#1} (千人)	歯科レセプト		比 ^{#3}
		月の 診療実日数 の合計 (千日)	平日の 1日平均 患者数 ^{#2} (千日)	
総数	1,267.3	34,871.4	1,312.4	1.04
I 感染症及び寄生虫症	0.0	21.6	0.8	-
II 新生物＜腫瘍＞	0.0	91.5	3.4	-
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.0	3.2	0.1	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	0.0	4.8	0.2	-
V 精神及び行動の障害	0.0	46.2	1.7	-
VI 神経系の疾患	0.0	14.1	0.5	-
VII 眼及び付属器の疾患	0.0	0.1	0.0	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0.0	0.1	0.0	-
IX 循環器系の疾患	0.0	5.6	0.2	-
X 呼吸器系の疾患	0.0	15.0	0.6	-
X I 消化器系の疾患	1,011.0	33,127.2	1,246.7	1.23
う蝕	285.3	2,590.7	97.5	0.34
歯肉炎及び歯周疾患	490.0	27,029.2	1,017.2	2.08
その他の歯及び歯の支持組織の障害	213.5	3,205.6	120.6	0.56
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	0.0	0.2	0.0	-
胃炎及び十二指腸炎	0.0	0.6	0.0	-
痔核	0.0	0.0	0.0	-
アルコール性肝疾患	0.0	0.0	0.0	-
慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	0.0	0.0	0.0	-
肝硬変（アルコール性のものを除く）	0.0	0.0	0.0	-
その他の肝疾患	0.0	0.4	0.0	-
胆石症及び胆のう炎	0.0	0.1	0.0	-
膵疾患	0.0	0.0	0.0	-
その他の消化器系の疾患	22.1	300.3	11.3	0.51
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	0.0	19.5	0.7	-
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	0.0	8.9	0.3	-
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	0.0	0.6	0.0	-
X V 妊娠、分娩及び産じょく	0.0	0.1	0.0	-
X VI 周産期に発生した病態	0.0	0.1	0.0	-
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	0.0	17.5	0.7	-
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見など	0.0	53.1	2.0	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1.7	1,250.3	47.1	27.07
骨折	0.0	10.5	0.4	-
頭蓋内損傷及び内臓の損傷	0.0	0.1	0.0	-
熱傷及び腐食	0.0	0.1	0.0	-
中毒	0.0	0.0	0.0	-
その他の損傷及びその他の外因の影響	1.7	1,239.6	46.7	-
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	254.6	0.0	0.0	0.00
健康者に対する検査・健康診断（査）・管理	22.3			
予防接種	0.0			
正常妊娠・産じょくの管理	0.0			
歯の補てつ	227.8			
その他の保健サービス	4.4			
X X II 特殊目的用コード（COVID-19など）	0.0	0.1	0.0	-
不詳	0.0	191.8	7.2	-

^{#1}：医療保険・公費等の推計外来患者数^{#2}：平日の1日平均患者数＝（月の診療実日数の合計）／〔（月の日数）×（週間診療状況の調整係数：6/7）〕^{#3}：（歯科レセプトの平日の1日平均患者数）／（患者調査の歯科診療所の推計外来患者数）

表 3-1. 傷病分類別、歯科レセプトの 1 日平均患者数の年次推移：2018～2023 年度

傷病分類	歯科レセプトの1日平均患者数（千人）							
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2020/ 2018年 度の比	2023/ 2020年 度の比
総数	1,084.8	1,090.2	1,022.0	1,052.7	1,053.8	1,064.7	0.94	1.04
I 感染症及び寄生虫症	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.99	0.92
II 新生物＜腫瘍＞	2.9	3.1	2.7	2.7	2.7	2.8	0.95	1.03
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.90	1.04
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.94	1.18
V 精神及び行動の障害	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.16	1.26
VI 神経系の疾患	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.87	1.16
VII 眼及び付属器の疾患	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
IX 循環器系の疾患	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.84	1.19
X 呼吸器系の疾患	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.89	1.09
X I 消化器系の疾患	1,025.4	1,031.7	969.9	1,000.6	1,000.1	1,010.5	0.95	1.04
う蝕	84.9	82.6	75.9	74.4	75.4	74.0	0.89	0.97
歯肉炎及び歯周疾患	824.8	835.6	789.5	823.4	819.6	833.5	0.96	1.06
その他の歯及び歯の支持組織の障害	106.3	103.6	95.5	93.6	95.9	94.0	0.90	0.98
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
胃炎及び十二指腸炎	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
痔核	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
アルコール性肝疾患	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
肝硬変（アルコール性のものを除く）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
その他の肝疾患	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
胆石症及び胆のう炎	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
膵疾患	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
その他の消化器系の疾患	9.4	9.9	9.0	9.1	9.1	8.9	0.96	1.00
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.95	1.03
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.84	1.04
X IV 腎尿路生殖生殖器系の疾患	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
X V 妊娠、分娩及び産じょく	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
X VI 周産期に発生した病態	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	0.6	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	0.94	1.11
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見など	1.1	1.3	1.6	1.9	2.3	2.7	1.47	1.71
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	42.0	41.6	37.4	37.1	38.4	38.3	0.89	1.02
骨折	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.80	1.17
頭蓋内損傷及び内臓の損傷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
熱傷及び腐食	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
中毒	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
その他の損傷及びその他の外因の影響	41.7	41.2	37.2	36.8	38.1	38.0	0.89	1.02
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
X X II 特殊目的用コード（COVID-19など）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	－
不詳	8.6	7.4	5.7	5.5	5.3	5.2	0.66	0.92

対象：歯科レセプトの電算処理分

図 3-1. 歯科レセプトの 1 日平均患者数の年月推移：「う蝕」、「歯肉炎及び歯周疾患」

